

2010年1月の医療機器の生産・輸入金額 (薬事工業生産動態統計調査月報平成22年1月分速報値より)

医療機器産業研究所主任研究員 中野壮陸

本資料は、厚生労働省の薬事工業生産動態統計調査月報—平成21年1月分及び平成22年1月分速報が平成22年4月5日に公表されたことに伴い、大分類別に集計・分析したものである。

【データ範囲】

2009年2月から2010年1月の間：月報速報データ

2007年1月から2009年1月の間：月報データ

※薬事工業生産動態統計調査月報の速報値と確定値の間には5%程度の乖離があることが過去のデータから確認されており、本ファクトシートもそれらの影響を受けている可能性が否定できないことを予めご了承ください。

1. 医療機器全体の金額、輸入金額の推移

医療機器全体における2010年1月の生産金額と輸入金額の合計金額は2,963億円で、前月比21.8%減、対前年同月比28.4%増であった。

生産金額は1,352億円で、前月比17.5%減、対前年同月比7.3%減であった。

輸入金額は1,611億円で、前月比25.1%減、対前年同月比89.9%増であった(図1)。

全体的傾向としては、中期的に見れば増加傾向にあるものの一時的には落ち込んでいる。ただし、例年1月は前月より減少傾向にある。

生産金額と輸入金額の構成割合は生産45.6%、輸入54.4%と輸入が生産を上回っている。前月の生産43.3%、輸入56.7%に比べ生産割合が2.3ポイント微増しているものの、前年同月の生産60.9%、輸入39.1%と比較すると生産割合が15.3ポイントも大幅減少している(図2)。

2009年2月以前は輸入割合が生産割合を上回ることが無かったが、2009年2月以降の1年間では輸入割合が生産割合を上回る月が9ヶ月存在し、輸入超過がより一層進んだ結果となった。

大分類別の合計金額では、生体機能補助・代行機器が529億円(構成比17.9%)で最も多く、次いで治療用又は手術用機器が513億円(同比17.3%)、処置用機器が466億円(同比15.7%)の順であった(図3)。上位3大分類による累積の合計金額は1,507億円(同比50.9%)である。

大分類別の生産金額では、生体現象計測・監視システムが330億円(構成比24.4%)で最も多く、次いで処置用機器が304億円(同比22.4%)、生体機能補助・代行機器が164億円(同比12.1%)の順であった(図4)。上位3大分類による累積の合計金額は797億円(同比58.9%)である。

大分類別の輸入金額では、治療用又は手術用機器が474億円(構成比29.4%)で最も多く、次いで生体機能補助・代行機器が365億円(同比22.7%)、医用検体検査機器が322億円(同比20.0%)の順であった(図5)。上位3大分類による累積の合計金額は1,161億円(同比72.1%)である。

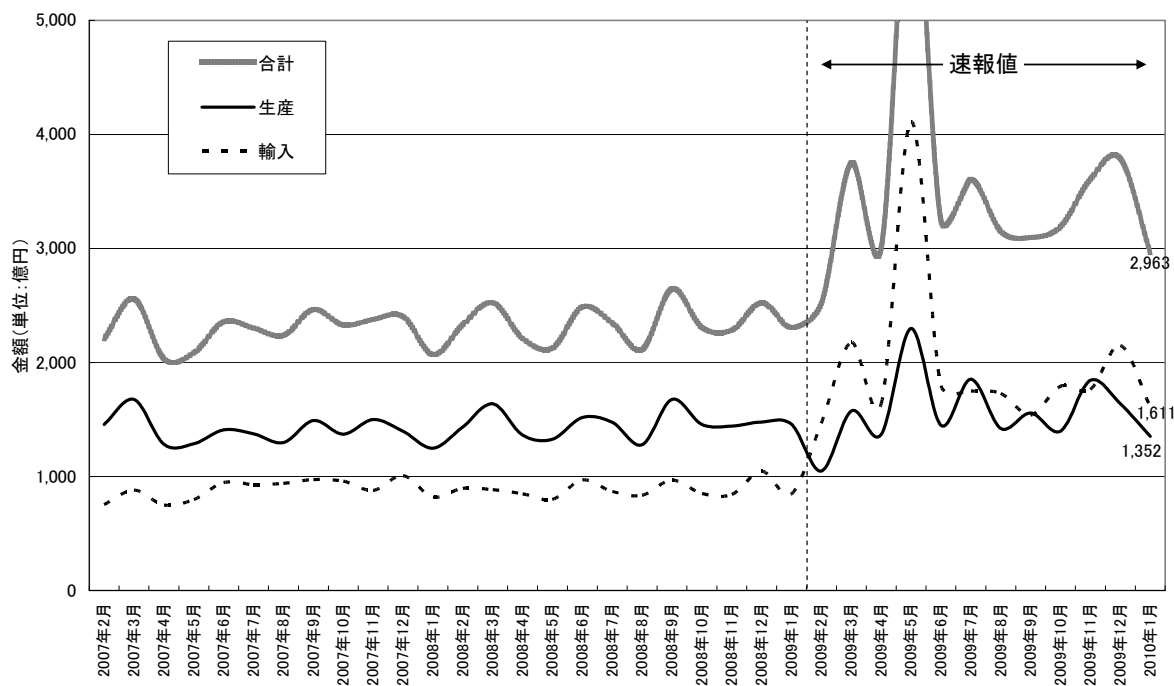


図1 医療機器全体の生産金額、輸入金額

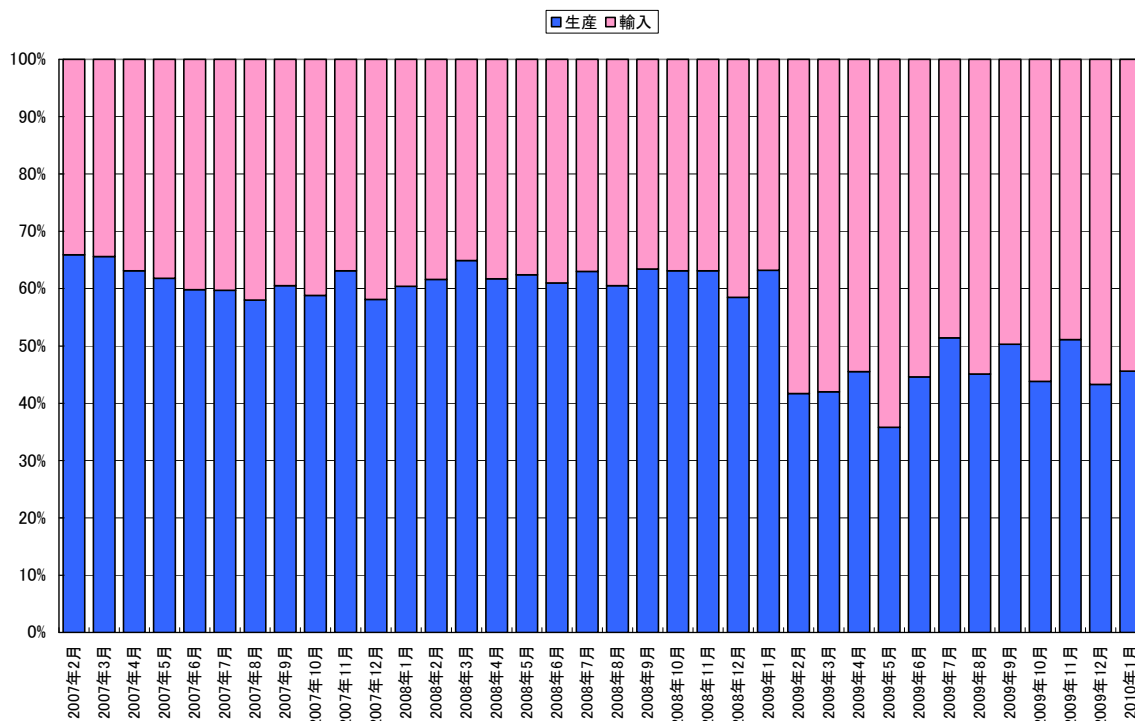


図2 生産金額と輸入金額の構成比

財団法人医療機器センター附属医療機器産業研究所
MDS I ファクトシート No. 1 (2010年4月)

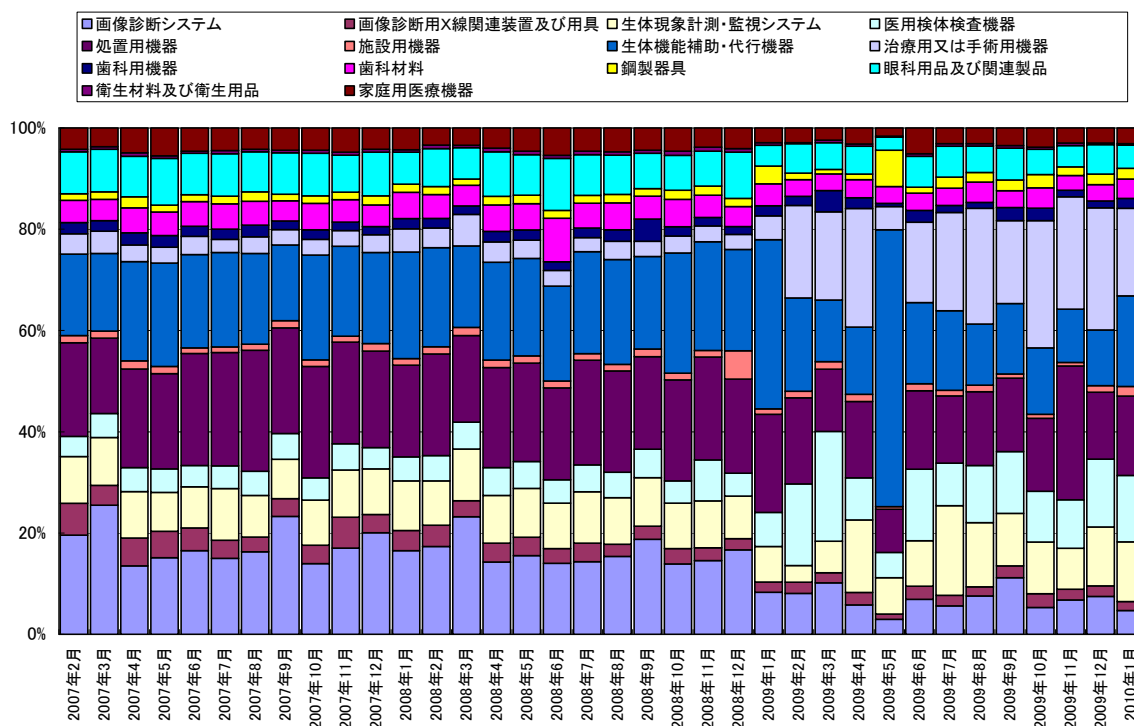


図3 合計（生産＋輸入）金額の大分類別構成比

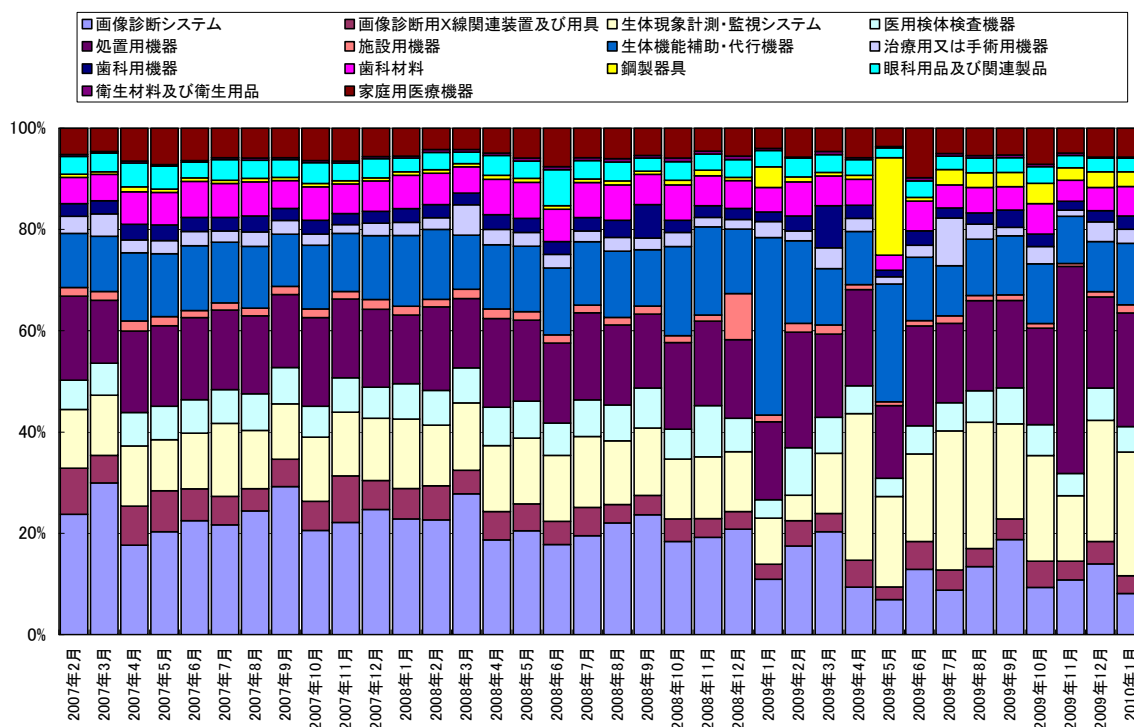


図4 生産金額の大分類別構成比

財団法人医療機器センター附属医療機器産業研究所
MDS I ファクトシート No. 1 (2010年4月)

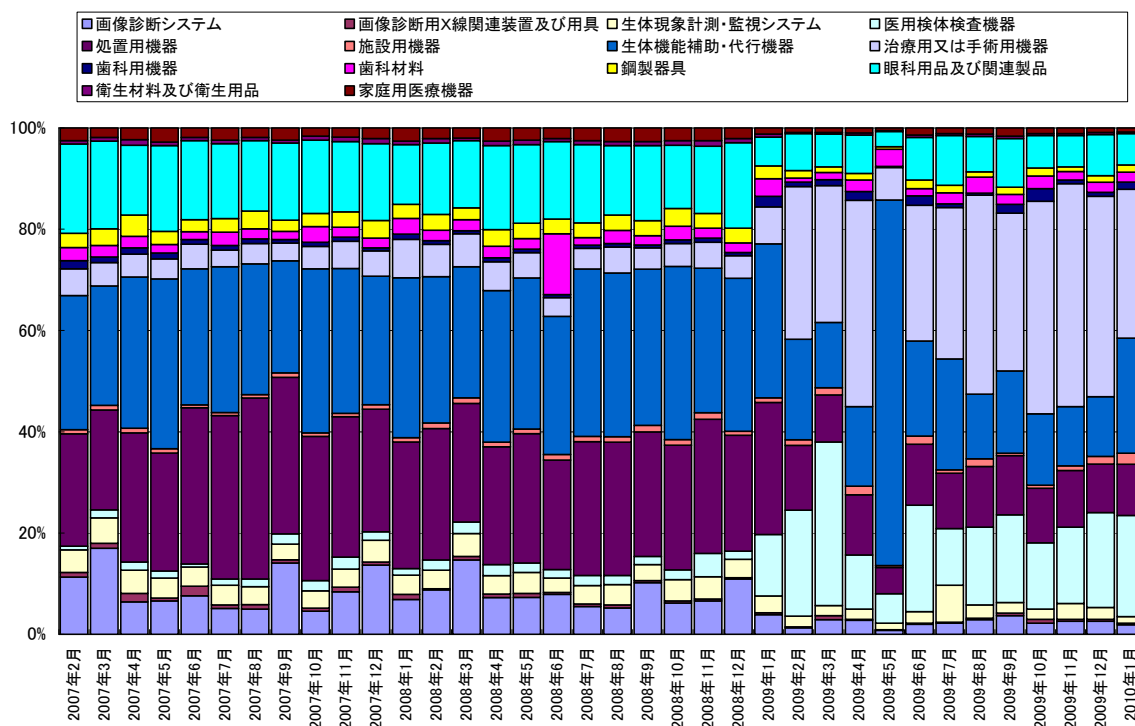


図5 輸入金額の大分類別構成比

2. 画像診断システムの金額、輸入金額の推移

画像診断システムにおける2010年1月の生産金額と輸入金額の合計金額は140億円で、前月比50.6%減、対前年同月比26.8%減であった。

生産金額は110億円で、前月比51.8%減、対前年同月比30.5%減であった。

輸入金額は30億円で、前月比45.6%減、対前年同月比9.4%減であった。

生産金額と輸入金額の構成割合は生産78.4%、輸入21.6%である。前月の生産80.4%、輸入19.6%に比べ生産割合が2.0ポイント減少し、前年同月の生産82.6%、輸入17.4%と比較すると生産割合が4.2ポイント減少している。

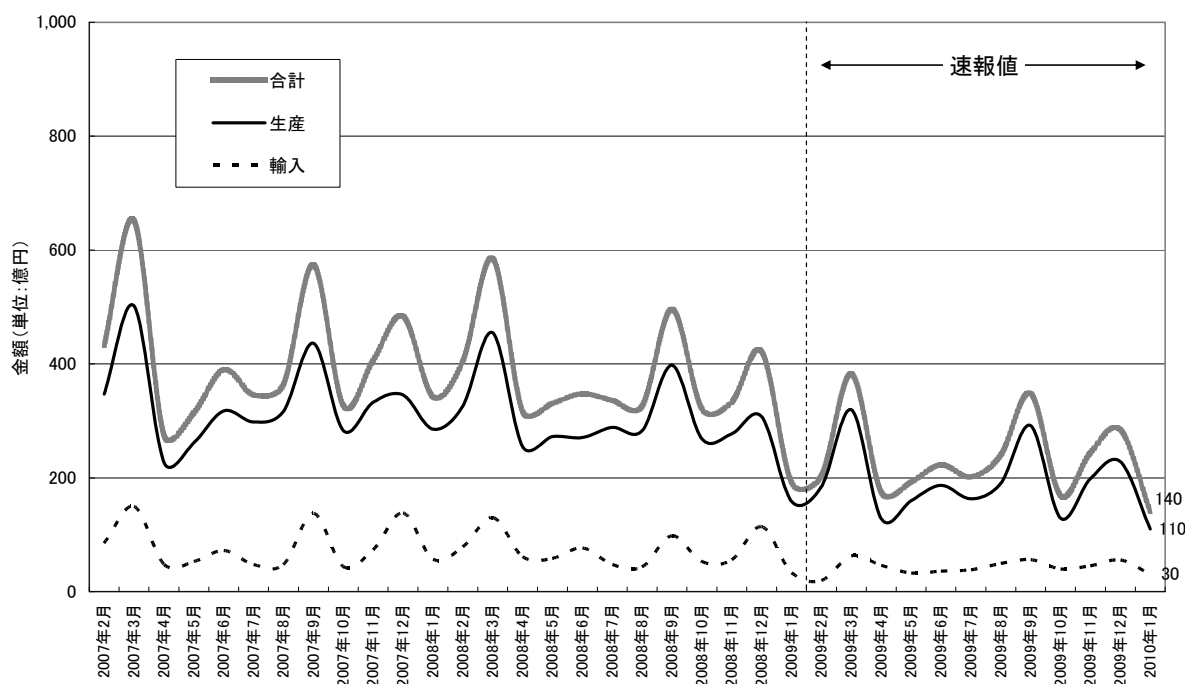


図6 画像診断システムの生産金額、輸入金額

3. 画像診断用X線関連装置及び用具

画像診断用X線関連装置及び用具における2010年1月の生産金額と輸入金額の合計金額は52億円で、前月比36.0%減、対前年同月比10.6%増であった。

生産金額は48億円で、前月比34.0%減、対前年同月比8.0%増であった。

輸入金額は4億円で、前月比51.6%減、対前年同月比48.8%増であった。

生産金額と輸入金額の構成割合は生産91.5%、輸入8.5%である。前月の生産88.7%、輸入11.3%に比べ生産割合が2.8ポイント増加し、前年同月の生産93.7%、輸入6.3%と比較すると生産割合が2.2ポイント減少している。

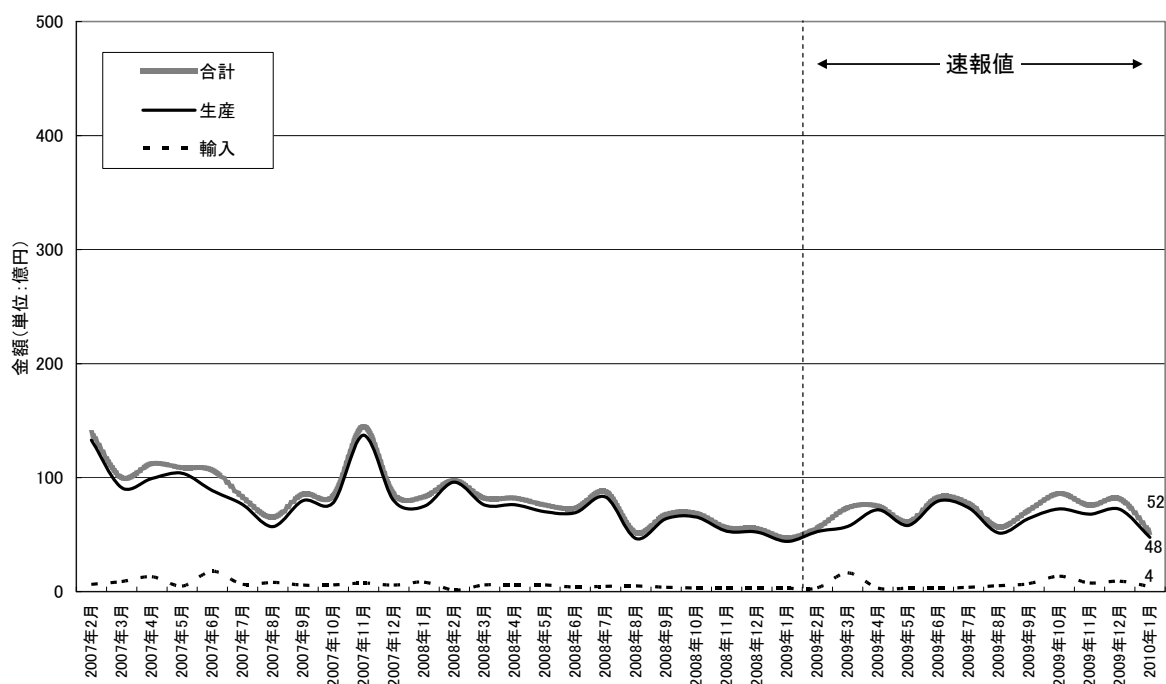


図7 画像診断用X線関連装置及び用具の生産金額、輸入金額

4. 生体現象計測・監視システム

生体現象計測・監視システムにおける2010年1月の生産金額と輸入金額の合計金額は350億円で、前月比20.4%減、対前年同月比117.5%増であった。

生産金額は330億円で、前月比15.7%減、対前年同月比147.1%増であった。

輸入金額は21億円で、前月比57.8%減、対前年同月比25.3%減であった。

生産金額と輸入金額の構成割合は生産94.1%、輸入5.9%である。前月の生産88.9%、輸入11.1%に比べ生産割合が5.2ポイント増加し、前年同月の生産82.8%、輸入17.2%と比較すると生産割合が11.3ポイント増加している。

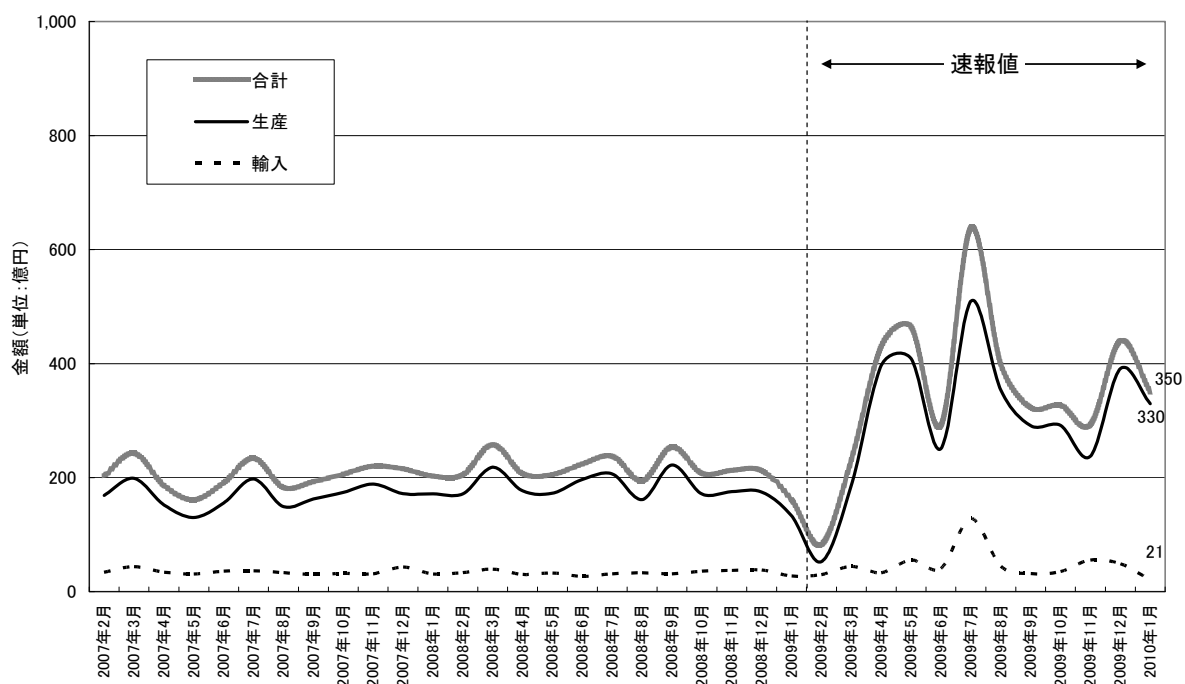


図8 生体現象計測・監視システムが生産金額、輸入金額

5. 医用検体検査機器

医用検体検査機器における2010年1月の生産金額と輸入金額の合計金額は390億円で、前月比23.0%減、対前年同月比151.9%増であった。

生産金額は68億円で、前月比35.1%減、対前年同月比30.4%増であった。

輸入金額は322億円で、前月比19.9%減、対前年同月比213.3%増であった。

生産金額と輸入金額の構成割合は生産17.4%、輸入82.6%である。前月の生産20.7%、輸入79.3%に比べ生産割合が3.3ポイント減少し、前年同月の生産33.6%、輸入64.4%と比較すると生産割合が16.2ポイント減少している。

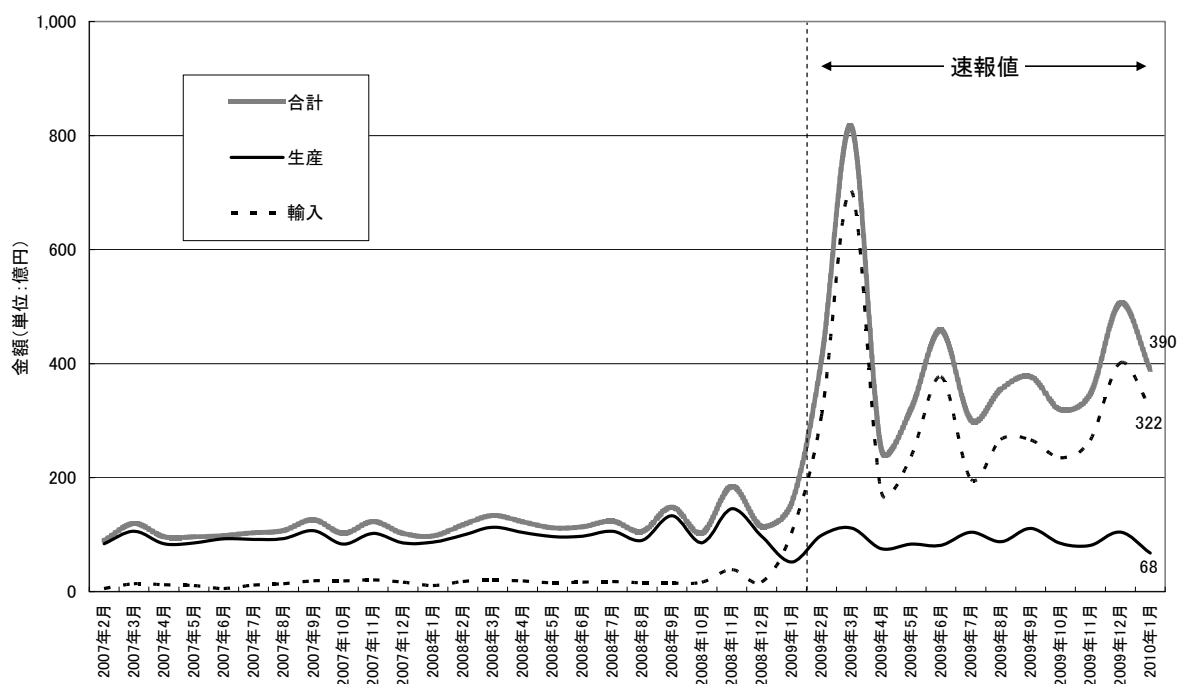


図9 医用検体検査機器の生産金額、輸入金額

6. 処置用機器

処置用機器における2010年1月の生産金額と輸入金額の合計金額は466億円で、前月比7.1%減、対前年同月比4.6%増であった。

生産金額は304億円で、前月比2.8%増、対前年同月比35.5%増であった。

輸入金額は162億円で、前月比21.4%減、対前年同月比26.7%減であった。

生産金額と輸入金額の構成割合は生産65.2%、輸入34.8%である。前月の生産58.9%、輸入41.1%に比べ生産割合が6.3ポイント増加し、前年同月の生産50.3%、輸入49.7%と比較すると生産割合が14.9ポイント増加している。

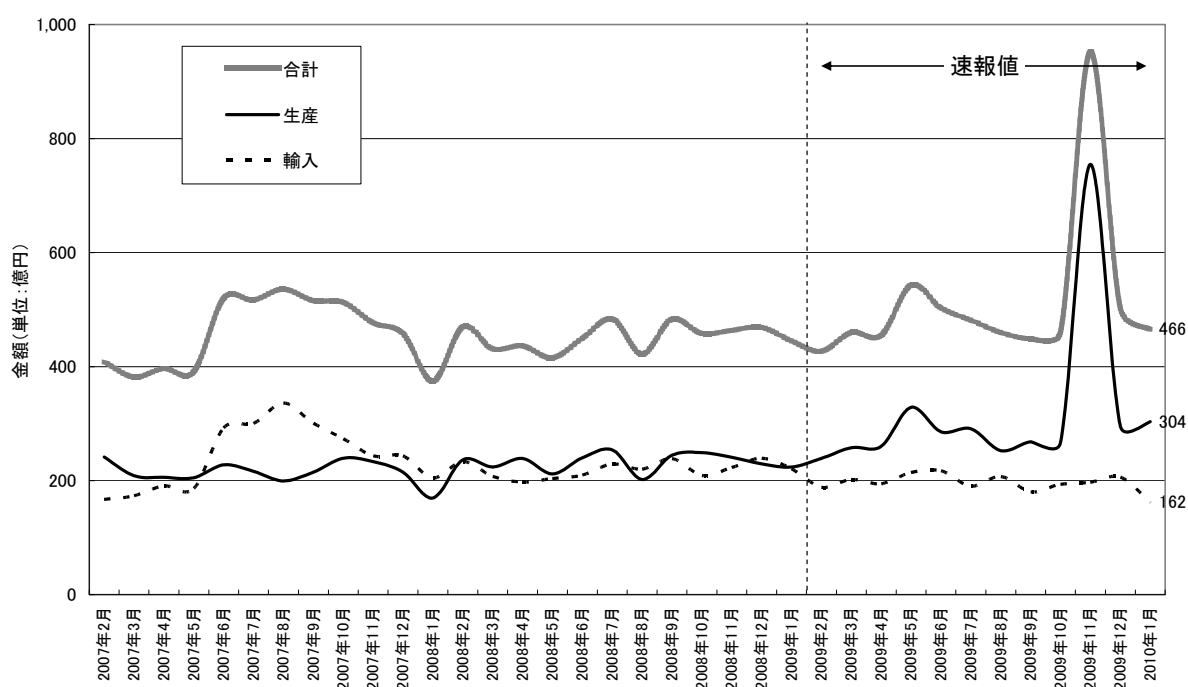


図10 処置用機器の生産金額、輸入金額

7. 施設用機器

施設用機器における2010年1月の生産金額と輸入金額の合計金額は57億円で、前月比15.1%増、対前年同月比118.9%増であった。

生産金額は21億円で、前月比23.2%増、対前年同月比12.6%増であった。

輸入金額は36億円で、前月比10.9%増、対前年同月比385.3%増であった。

生産金額と輸入金額の構成割合は生産36.7%、輸入63.3%である。前月の生産34.3%、輸入65.7%に比べ生産割合が2.4ポイント増加し、前年同月の生産71.5%、輸入28.5%と比較すると生産割合が34.8ポイント減少している。

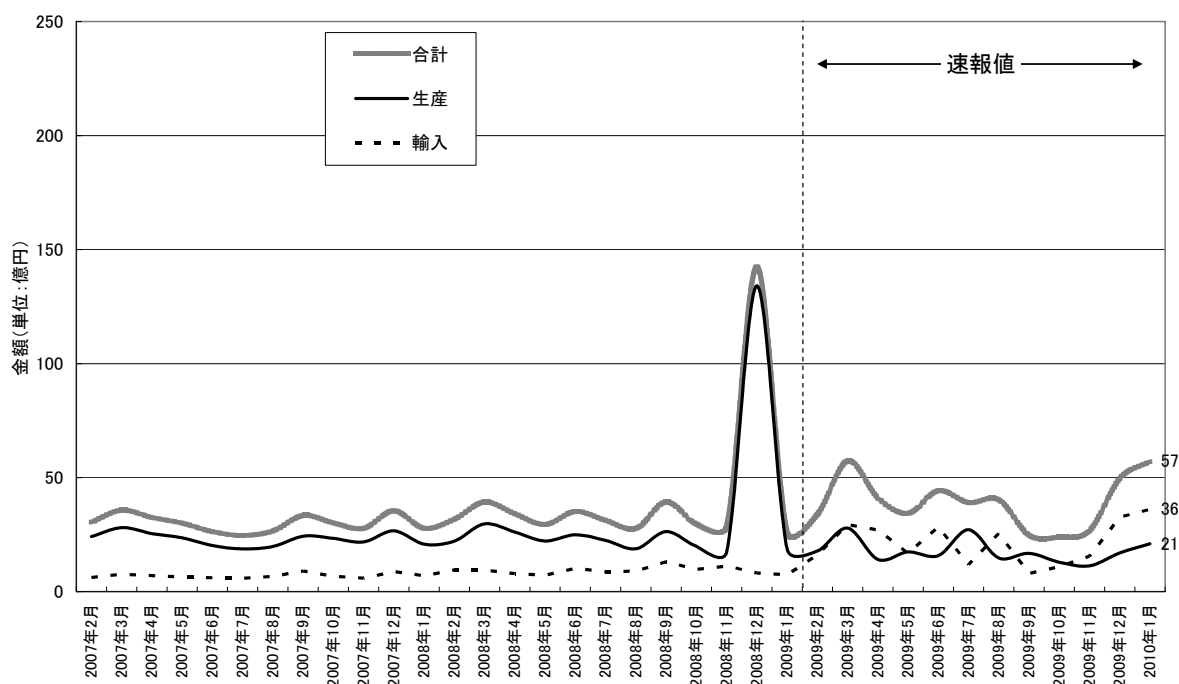


図 11 施設用機器の生産金額、輸入金額

8. 生体機能補助・代行機器

生体機能補助・代行機器における2010年1月の生産金額と輸入金額の合計金額は529億円で、前月比27.5%増、対前年同月比31.2%減であった。

生産金額は164億円で、前月比1.3%増、対前年同月比68.0%減であった。

輸入金額は365億円で、前月比44.2%増、対前年同月比41.5%増であった。

生産金額と輸入金額の構成割合は生産31.0%、輸入69.0%である。前月の生産39.0%、輸入61.0%に比べ生産割合が8.0ポイント減少し、前年同月の生産66.4%、輸入33.6%と比較すると生産割合が35.4ポイント減少している。

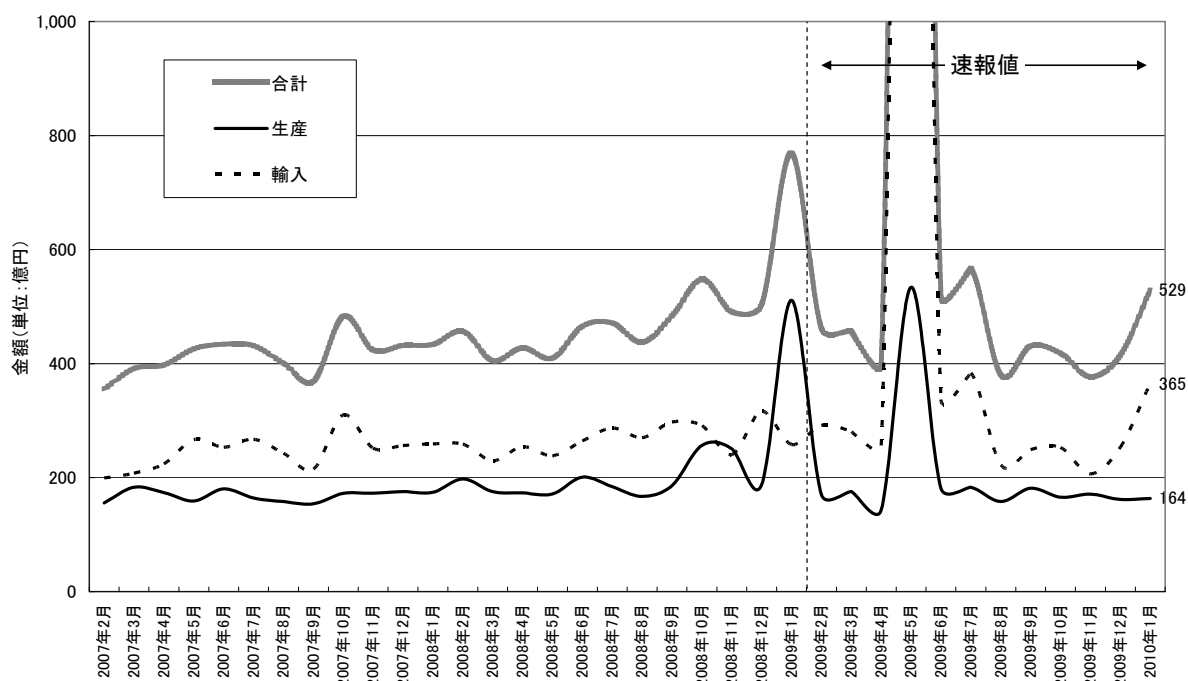


図12 生体機能補助・代行機器の生産金額、輸入金額

9. 治療用又は手術用機器

治療用又は手術用機器における2010年1月の生産金額と輸入金額の合計金額は513億円で、前月比43.8%減、対前年同月比370.1%増であった。

生産金額は38億円で、前月比39.4%減、対前年同月比18.4%減であった。

輸入金額は474億円で、前月比44.1%減、対前年同月比664.5%増であった。

生産金額と輸入金額の構成割合は生産7.5%、輸入92.5%である。前月の生産6.9%、輸入93.1%に比べ生産割合が0.6ポイント増加し、前年同月の生産43.1%、輸入56.9%と比較すると生産割合が35.6ポイント減少している。

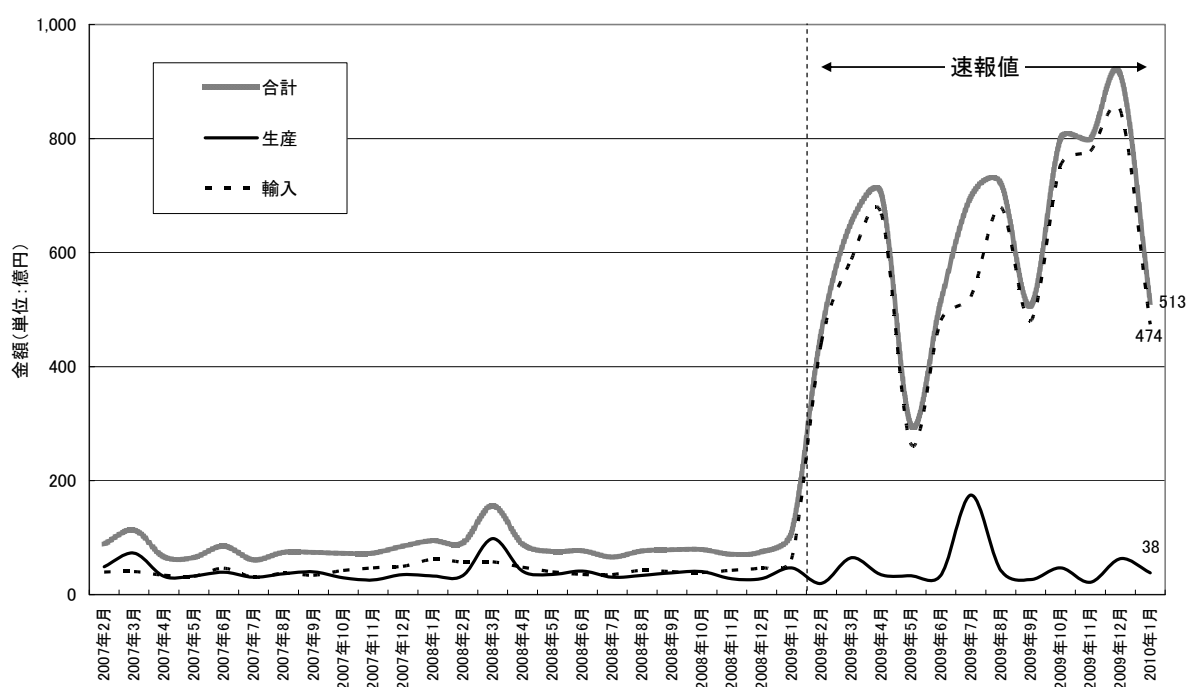


図13 治療用又は手術用機器の生産金額、輸入金額

10. 歯科用機器

歯科用機器における2010年1月の生産金額と輸入金額の合計金額は59億円で、前月比8.5%増、対前年同月比27.7%増であった。

生産金額は36億円で、前月比2.5%減、対前年同月比26.3%増であった。

輸入金額は23億円で、前月比31.3%増、対前年同月比29.9%増であった。

生産金額と輸入金額の構成割合は生産60.6%、輸入39.4%である。前月の生産67.5%、輸入32.5%に比べ生産割合が6.9ポイント減少し、前年同月の生産61.3%、輸入38.7%と比較すると生産割合が0.7ポイント減少している。

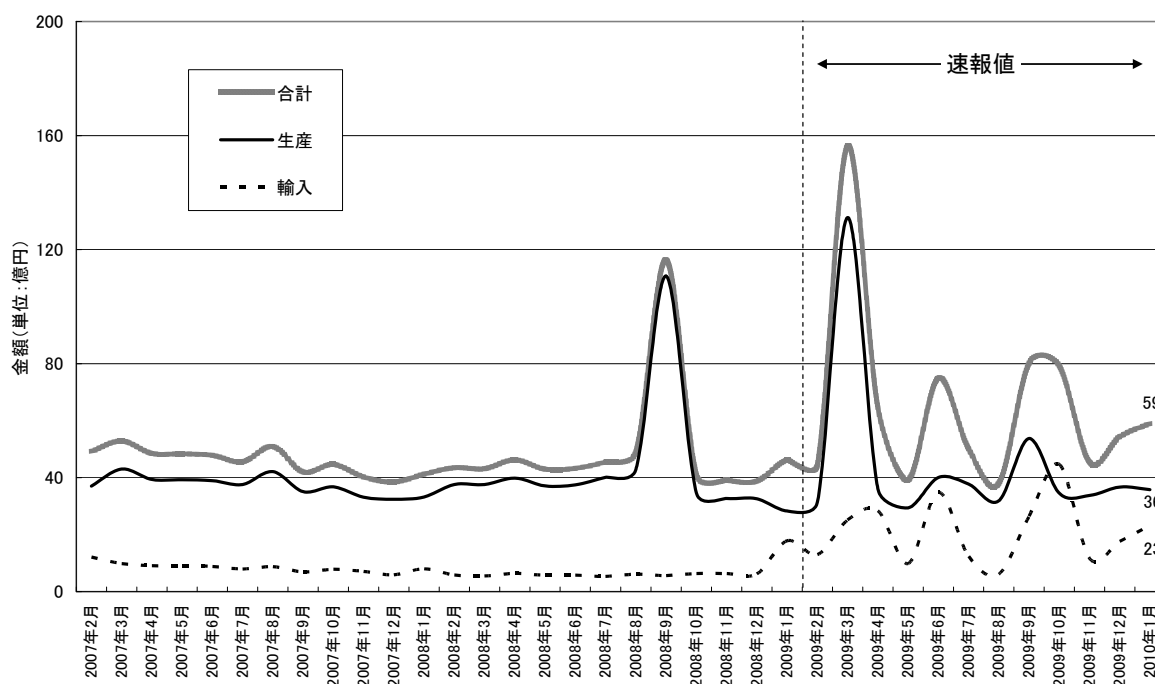


図14 歯科用機器の生産金額、輸入金額

11. 歯科材料

歯科材料における2010年1月の生産金額と輸入金額の合計金額は111億円で、前月7.0%減、対前年同月比11.0%増であった。

生産金額は79億円で、前月比3.4%増、対前年同月比11.5%増であった。

輸入金額は33億円で、前月比25.1%減、対前年同月比9.9%増であった。

生産金額と輸入金額の構成割合は生産70.6%、輸入29.4%である。前月の生産63.5%、輸入36.5%に比べ生産割合が7.1ポイント増加し、前年同月の生産70.3%、輸入29.7%と比較すると生産割合が0.3ポイント増加している。

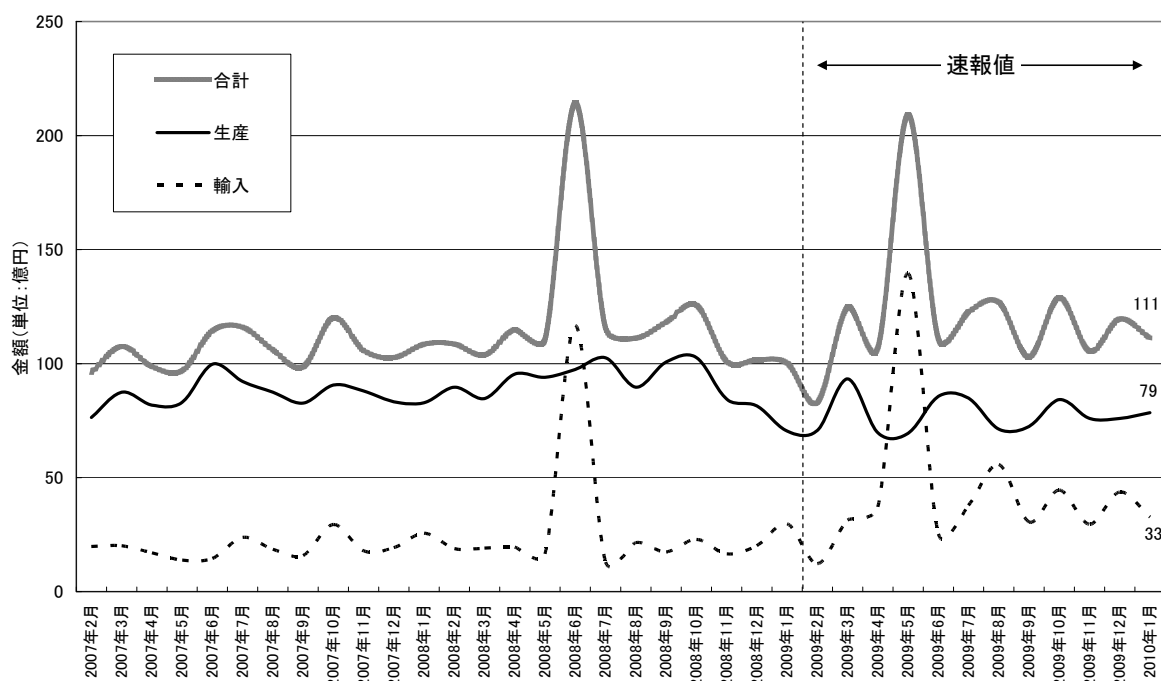


図15 歯科材料の生産金額、輸入金額

12. 鋼製器具

鋼製器具における2010年1月の生産金額と輸入金額の合計金額は62億円で、前月比21.5%減、対前年同月比24.7%減であった。

生産金額は40億円で、前月比20.6%減、対前年同月比33.9%減であった。

輸入金額は22億円で、前月比23.1%減、対前年同月比1.1%増であった。

生産金額と輸入金額の構成割合は生産64.7%、輸入35.3%である。前月の生産64.0%、輸入36.0%に比べ生産割合が0.7ポイント増加し、前年同月の生産73.7%、輸入26.3%と比較すると生産割合が9.0ポイント減少している。

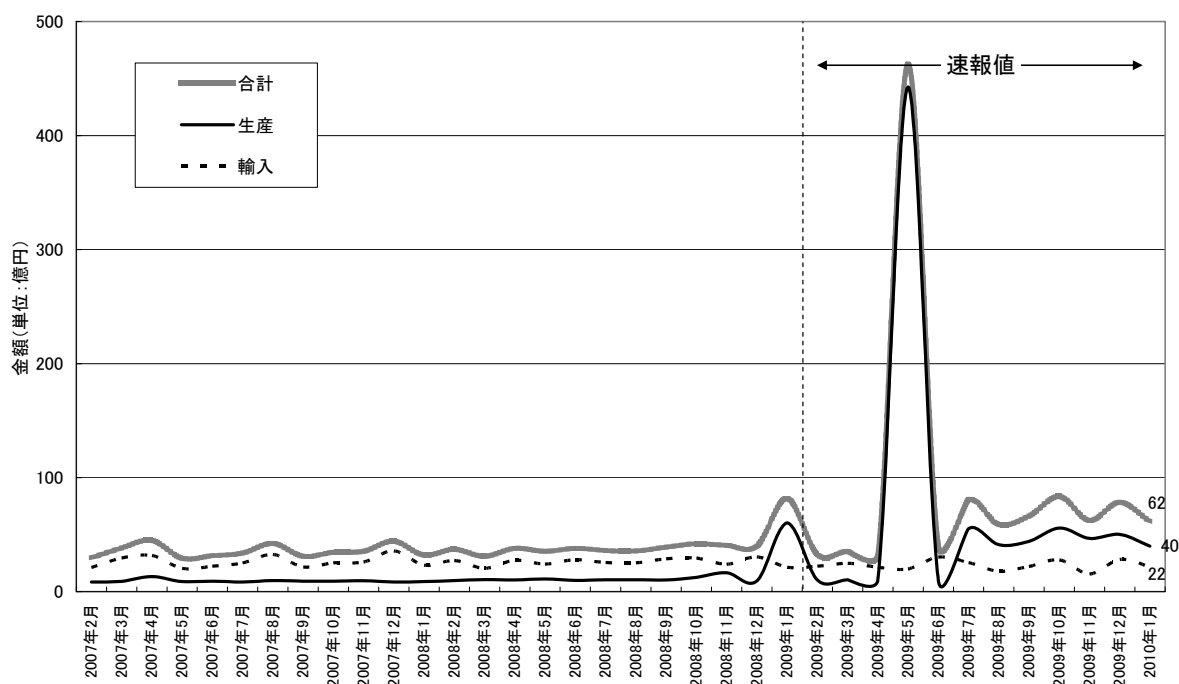


図16 鋼製器具の生産金額、輸入金額

13. 眼科用品及び関連製品

眼科用品及び関連製品における2010年1月の生産金額と輸入金額の合計金額は136億円で、前月比37.9%減、対前年同月比42.7%増であった。

生産金額は37億円で、前月比17.6%減、対前年同月比21.2%減であった。

輸入金額は99億円で、前月比43.1%減、対前年同月比104.1%増であった。

生産金額と輸入金額の構成割合は生産27.0%、輸入73.0%である。前月の生産20.4%、輸入79.6%に比べ生産割合が6.6ポイント増加し、前年同月の生産49.0%、輸入51.0%と比較すると生産割合が22.0ポイント減少している。

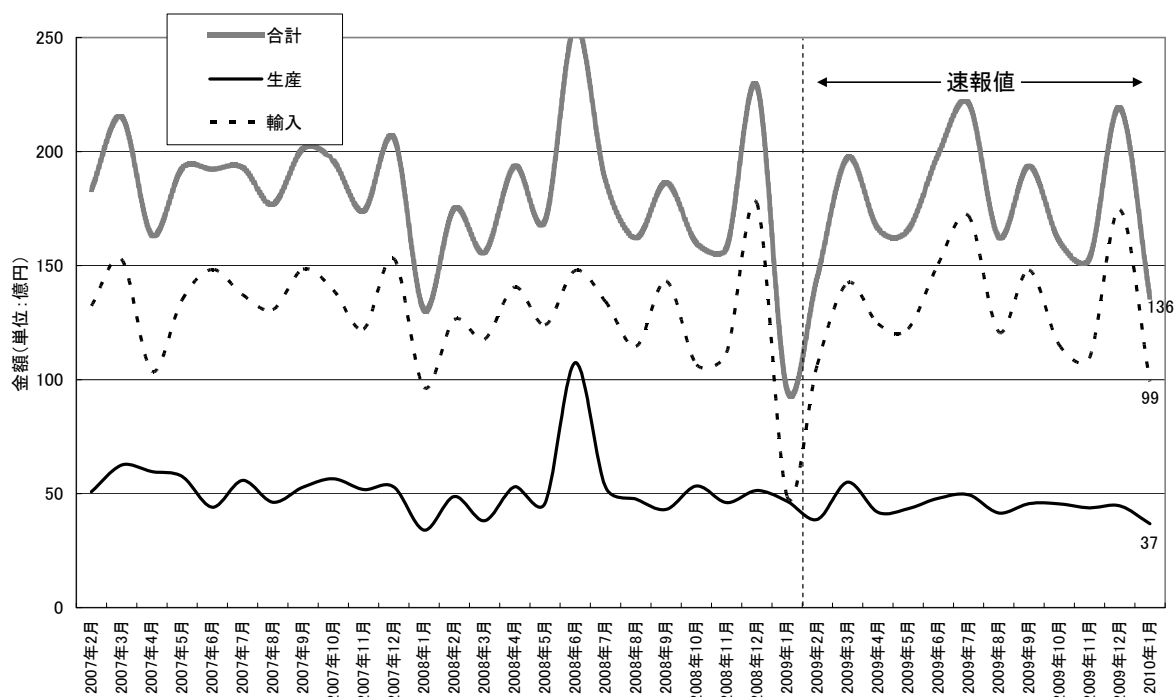


図17 眼科用品及び関連製品の生産金額、輸入金額

14. 衛生材料及び衛生用品

衛生材料及び衛生用品における2010年1月の生産金額と輸入金額の合計金額は8億円で、前月比36.2%減、対前年同月比31.5%減であった。

生産金額は2億円で、前月比44.5%減、対前年同月比66.4%減であった。

輸入金額は6億円で、前月比32.3%減、対前年同月比14.1%増であった。

生産金額と輸入金額の構成割合は生産27.8%、輸入72.2%である。前月の生産31.9%、輸入68.1%に比べ生産割合が4.1ポイント減少し、前年同月の生産56.6%、輸入43.4%と比較すると生産割合が28.8ポイント減少している。

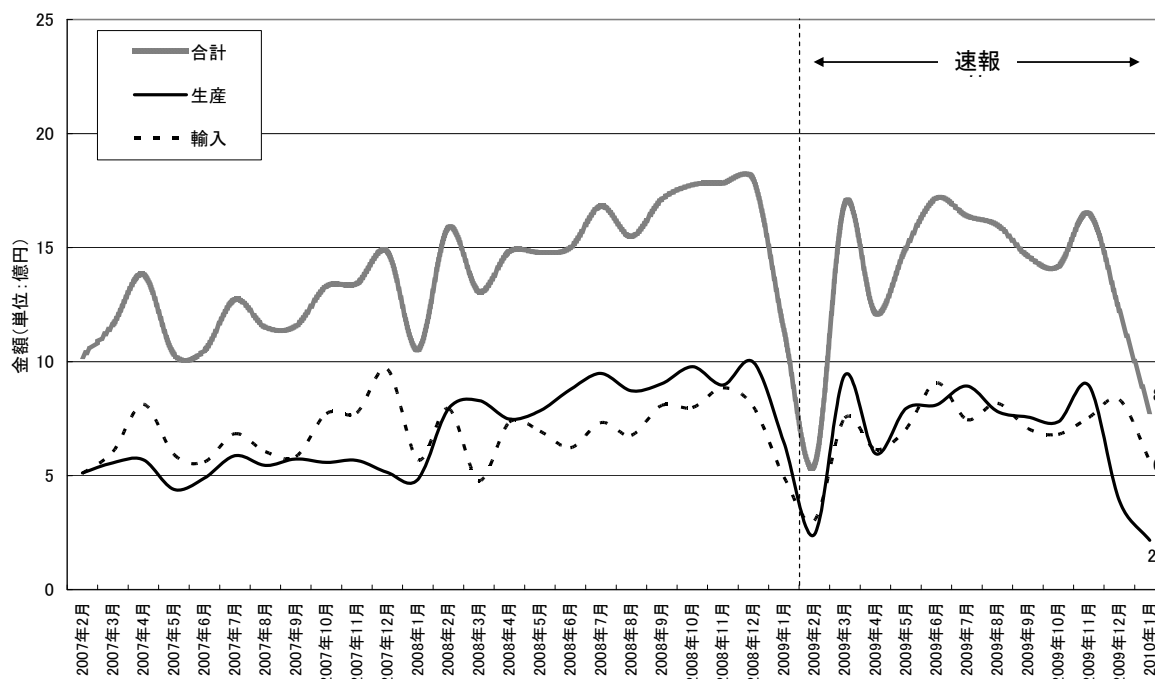


図18 衛生材料及び衛生用品の生産金額、輸入金額

15. 家庭用医療機器

家庭用医療機器における 2010 年 1 月の生産金額と輸入金額の合計金額は 90 億円で、前月比 20.4%減、対前年同月比 33.8%増であった。

生産金額は 77 億円で、前月比 17.3%減、対前年同月比 33.7%増であった。

輸入金額は 13 億円で、前月比 34.4%減、対前年同月比 34.4%増であった。

生産金額と輸入金額の構成割合は生産 85.4%、輸入 14.6%である。前月の生産 82.3%、輸入 17.7%に比べ生産割合が 3.1ポイント増加し、前年同月の生産 85.5%、輸入 14.5%と比較すると生産割合が 0.1ポイント減少している。

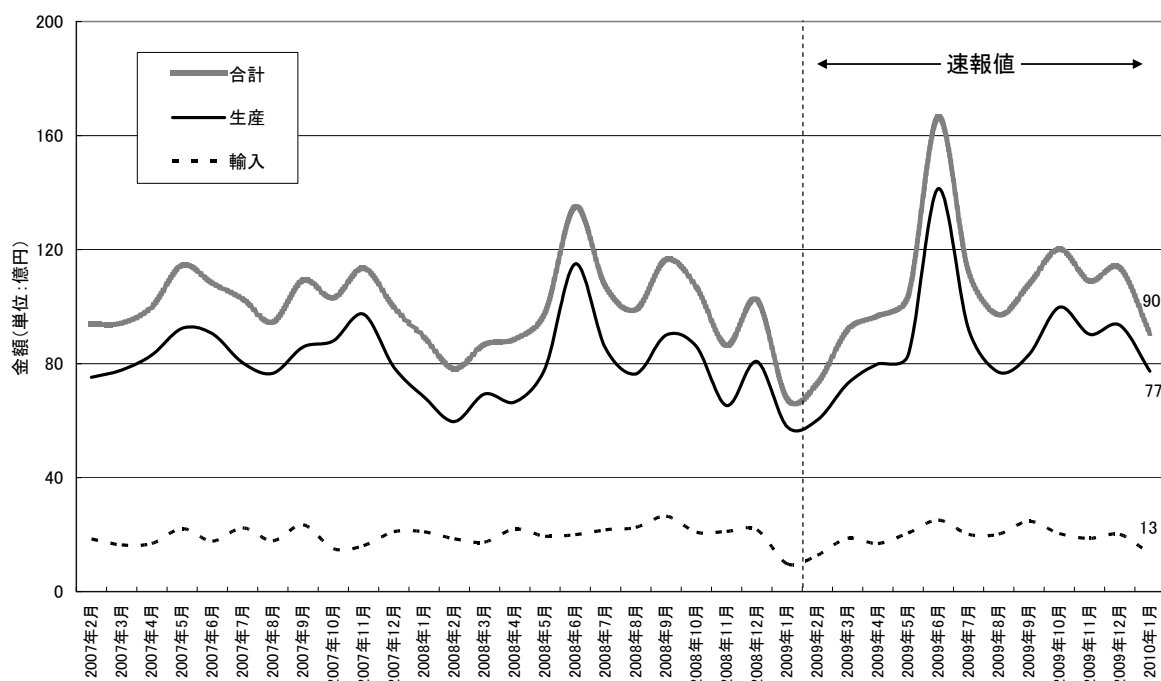


図 19 家庭用医療機器の生産金額、輸入金額

【その他参考図】

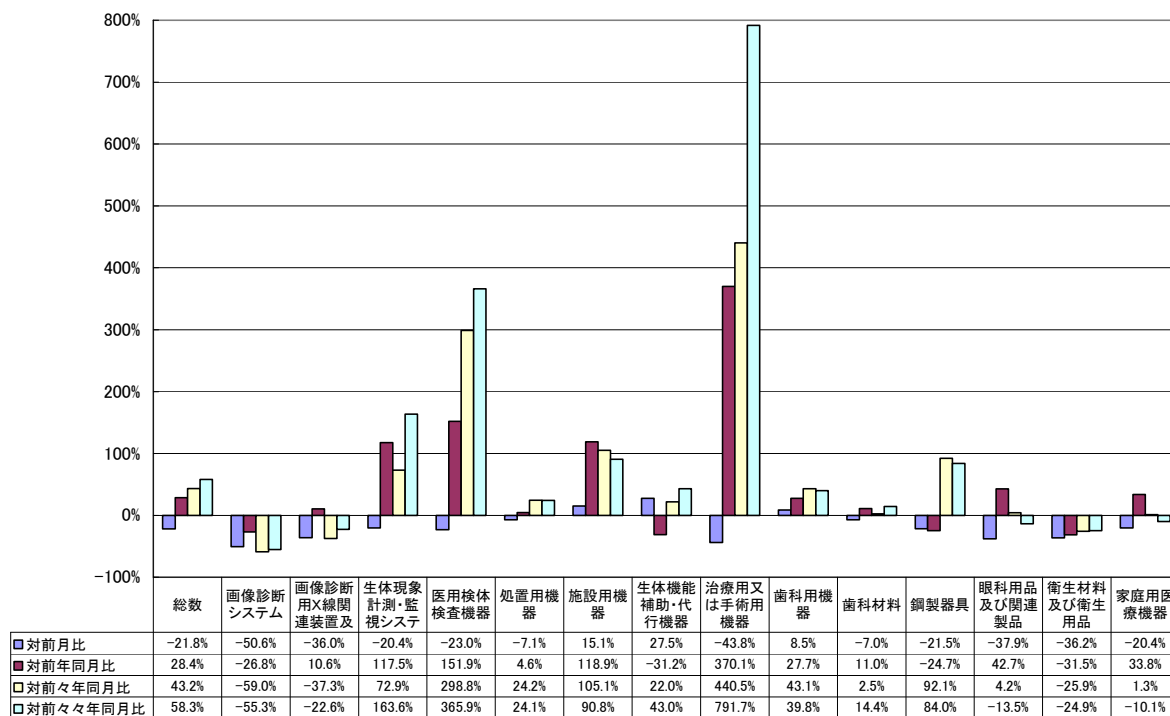


図 20 合計金額の増減比

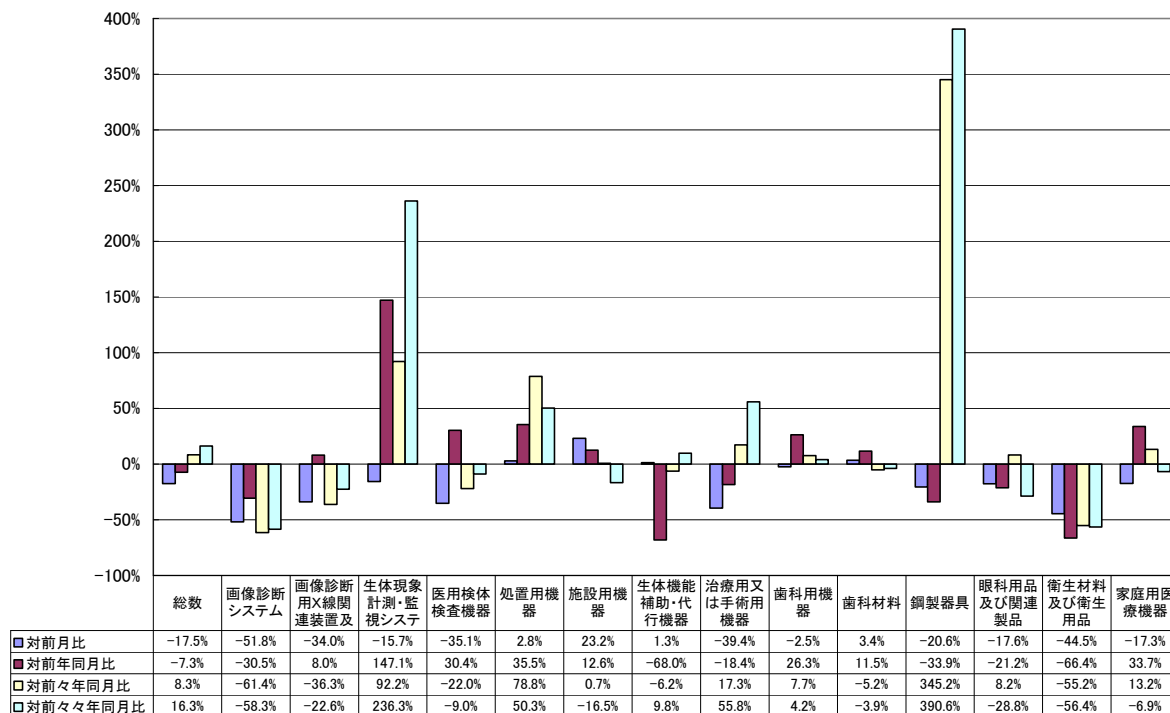


図 21 生産金額の増減比

財団法人医療機器センター附属医療機器産業研究所
MDS I ファクトシート No.1 (2010年4月)

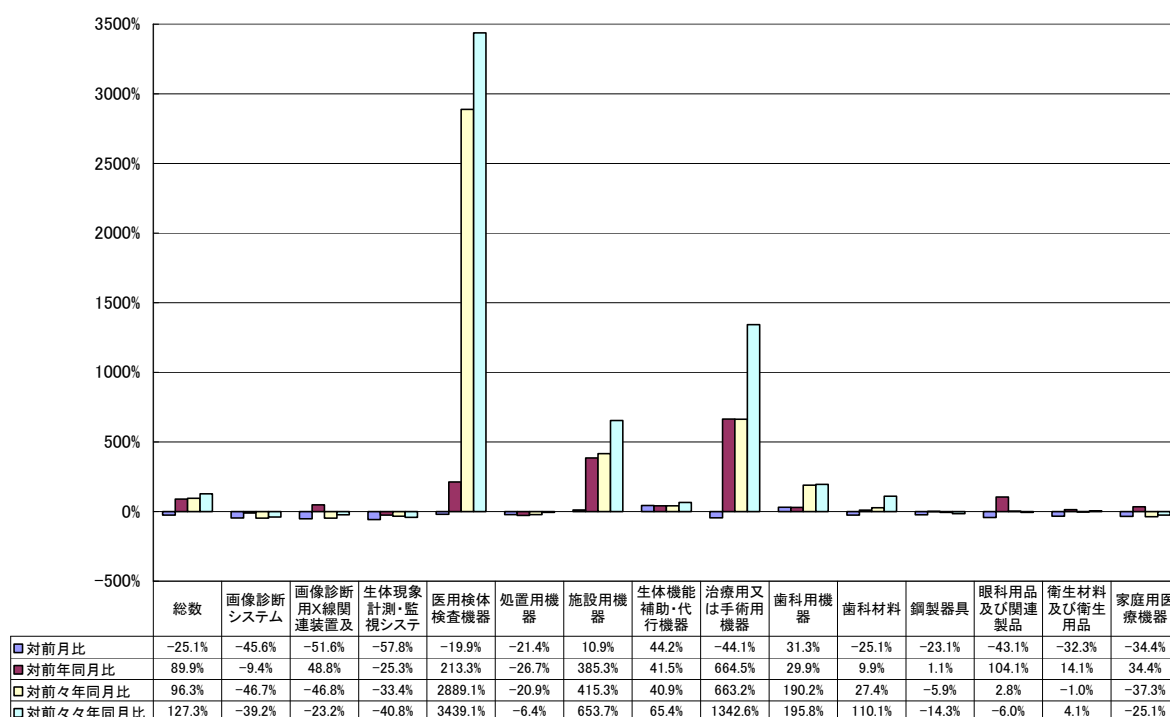


図 22 輸入金額の増減比

本ファクトシートは、研究上の討論のために配布するものである。本ファクトシートを研究上の討論に引用、利用することは妨げないが、引用、利用または参照等したことによって生じたいかなる損害にも著者、財団法人医療機器センター及び医療機器産業研究所のいずれも責任を負いません。

本ファクトシートに記載された意見や考えは著者の個人的なものであり、財団法人医療機器センター及び医療機器産業研究所の公式な見解ではありません。

【内容照会先】

財団法人医療機器センター附属医療機器産業研究所 主任研究員 中野壮陸

電話：03-3813-8553 FAX：03-3813-8733

E-mail：mdsi@jaame.or.jp